



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アルファ

コード番号 3434 URL <http://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川名 祥之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 斉藤 雄一

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

TEL 045-787-8401

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	35,383	△4.5	2,200	80.9	1,555	102.4	△106	—
28年3月期第3四半期	37,051	6.0	1,216	121.3	768	△46.6	29	△97.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △3,098百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △1,141百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△11.14	—
28年3月期第3四半期	3.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	51,637	23,568	44.3	2,396.18
28年3月期	51,519	27,295	51.3	2,767.80

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 22,889百万円 28年3月期 26,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△4.0	2,100	57.4	1,350	—	△800	—	△83.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名)Alpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	10,200,000 株	28年3月期	10,200,000 株
29年3月期3Q	647,477 株	28年3月期	647,477 株
29年3月期3Q	9,552,523 株	28年3月期3Q	9,552,556 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信に関しましては、四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変更等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国新政権への経済政策の期待、英国のEU離脱問題、中国及び新興国の景気減速懸念など、政治や経済動向による変動リスクの高まりがあり、引き続き不透明な状況が続きました。日本経済は、外国為替市場において円安に推移する中、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調がみられました。

当社グループの属する自動車業界では、北米を中心に海外生産は伸びましたが、国内での生産台数は前年並みとなりました。セキュリティ機器業界では、国内の住宅着工件数において低水準な住宅ローン金利や消費税増税の延期を背景に増加しました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は353億83百万円と前年同四半期に比べ、16億68百万円（△4.5%）の減収となりました。利益につきましては、営業利益は22億円と前年同四半期に比べ、9億84百万円（80.9%）の増益となりました。経常利益は15億55百万円と前年同四半期に比べ、7億87百万円（102.4%）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、1億6百万円と前年同四半期に比べ、1億36百万円（前年同四半期は親会社に帰属する四半期純利益29百万円）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）は、国内での生産台数は前年並みであったものの、主要得意先の好調な新車販売に伴う生産台数の増加により、売上高は93億6百万円と前年同四半期に比べ、10億98百万円（13.4%）の増収、営業損失は2億71百万円（前年同四半期は営業損失9億20百万円）となりました。

②自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）は、主要得意先の自動車生産台数の増加に呼応し現地通貨ベースでは増収でしたが、為替影響により、売上高は97億22百万円と前年同四半期に比べ、8億25百万円（△7.8%）の減収、生産合理化等の効果により、営業利益は7億3百万円（28.3%）の増益となりました。

③自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）は、新たにPT. ALPHA AUTOMOTIVE INDONESIAを連結しましたが、主要得意先のアセアンでの販売台数が伸びず、売上高は133億51百万円と前年同四半期に比べ、24億44百万円（△15.5%）の減収、営業利益は10億24百万円と前年同四半期に比べ、79百万円（△7.2%）の減益となりました。

④セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）は、ターミナルロッカーの物販とロッカーオペレーション事業が好調に推移し、また賃貸・戸建住宅向け電気錠の採用が順調に推移したことに伴い、売上高は59億44百万円と前年同四半期に比べ、7億7百万円（13.5%）の増収、営業利益は6億35百万円と前年同四半期に比べ2億90百万円（84.2%）の増益となりました。

⑤セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）は、売上高は22億74百万円と前年同四半期に比べ、1億27百万円（5.9%）の増収、営業利益は60百万円と前年同四半期に比べ、42百万円（△41.1%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は516億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億18百万円の減少となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、16億35百万円増加し、150億73百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が4億55百万円、受取手形及び売掛金が15億40百万円増加したこと等により、17億58百万円増加し、282億56百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が14億7百万円減少したこと等により、16億39百万円減少し、233億72百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が8億71百万円、短期借入金が10億95百万円増加したこと等により、28億78百万円増加し、168億69百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が3億29百万円増加したこと等により、9億66百万円増加し、111億99百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が31億82百万円減少したこと等により、37億26百万円減少し、235億68百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の51.3%から7.0ポイント減少し、44.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきまして、平成28年10月3日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.、ALPHA INDUSTRY PUEBLA, S. A. DE C.V.及びALPHA (SUZHOU) VEHICLE SECURITY SOLUTIONS CO., LTD.を連結の範囲に含めておりますが、Alpha Vehicle Security Solutions Switzerland Saglは、重要性が乏しいため、連結の範囲に含めておりません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において非連結子会社であったPT. ALPHA AUTOMOTIVE INDONESIAは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,206	7,661
受取手形及び売掛金	9,644	11,184
商品及び製品	1,729	1,655
仕掛品	935	826
原材料及び貯蔵品	4,650	4,322
その他	2,335	2,606
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	26,498	28,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,674	4,577
機械装置及び運搬具（純額）	4,767	4,435
工具、器具及び備品（純額）	2,200	1,926
土地	1,625	1,509
その他（純額）	2,174	2,585
有形固定資産合計	16,441	15,034
無形固定資産		
のれん	767	1,126
その他	440	434
無形固定資産合計	1,208	1,561
投資その他の資産		
投資有価証券	5,652	5,238
その他	1,709	1,537
投資その他の資産合計	7,361	6,776
固定資産合計	25,011	23,372
繰延資産	8	9
資産合計	51,519	51,637
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,782	6,653
短期借入金	4,420	5,515
未払法人税等	324	425
賞与引当金	330	390
製品保証引当金	67	99
事業構造改善引当金	59	2
その他	3,006	3,781
流動負債合計	13,991	16,869
固定負債		
社債	480	440
長期借入金	6,411	6,741
退職給付に係る負債	50	49
資産除去債務	42	42
その他	3,248	3,925
固定負債合計	10,232	11,199
負債合計	24,223	28,069

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	16,210	15,604
自己株式	△578	△578
株主資本合計	21,344	20,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,760	2,998
為替換算調整勘定	2,335	△847
その他の包括利益累計額合計	5,095	2,151
非支配株主持分	855	678
純資産合計	27,295	23,568
負債純資産合計	51,519	51,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	37,051	35,383
売上原価	31,090	28,701
売上総利益	5,961	6,682
販売費及び一般管理費	4,744	4,481
営業利益	1,216	2,200
営業外収益		
受取利息	54	67
受取配当金	69	81
その他	155	156
営業外収益合計	278	305
営業外費用		
支払利息	152	142
為替差損	511	765
その他	62	42
営業外費用合計	726	950
経常利益	768	1,555
特別利益		
固定資産売却益	16	12
事業構造改善引当金戻入額	82	—
その他	0	—
特別利益合計	99	12
特別損失		
固定資産除売却損	7	32
投資有価証券評価損	—	10
米国反トラスト法関連損失	—	971
その他	1	85
特別損失合計	9	1,100
税金等調整前四半期純利益	857	467
法人税、住民税及び事業税	587	663
法人税等調整額	172	△151
法人税等合計	759	512
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97	△44
非支配株主に帰属する四半期純利益	68	61
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	29	△106

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97	△44
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	238
為替換算調整勘定	△1,131	△3,291
その他の包括利益合計	△1,239	△3,053
四半期包括利益	△1,141	△3,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,185	△3,017
非支配株主に係る四半期包括利益	43	△80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	6,095	10,524	14,721	—	5,209	501	37,051	—	37,051
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,111	24	1,074	—	27	1,645	4,883	△4,883	—
計	8,207	10,548	15,795	—	5,237	2,146	41,935	△4,883	37,051
セグメント利益又は損失(△)	△920	548	1,103	—	345	102	1,178	37	1,216

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額37百万円は、セグメント間取引消去37百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,308	9,542	12,321	—	5,893	317	35,383	—	35,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,998	180	1,029	—	51	1,956	5,215	△5,215	—
計	9,306	9,722	13,351	—	5,944	2,274	40,599	△5,215	35,383
セグメント利益又は損失(△)	△271	703	1,024	—	635	60	2,151	48	2,200

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額48百万円は、セグメント間取引消去48百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の金額が変動する要因となった事象の概要

第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.、ALPHA INDUSTRY PUEBLA, S. A. DE C.V.及びALPHA (SUZHOU) VEHICLE SECURITY SOLUTIONS CO., LTD.を連結子会社として連結の範囲に含めております。これにより、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産金額は、「自動車部品事業（北米）」セグメントにおいて16百万円、「自動車部品事業（アジア）」において340百万円、「自動車部品事業（欧州）」セグメントにおいて2,787百万円増加しております。

なお、資産の金額は当第3四半期連結会計期間末において取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.、ALPHA INDUSTRY PUEBLA, S. A. DE C.V.及びALPHA (SUZHOU) VEHICLE SECURITY SOLUTIONS CO., LTD.を連結子会社として連結の範囲に含めております。これにより、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントののれんの金額は、「自動車部品事業（欧州）」セグメントにおいて534百万円増加しております。

なお、のれんの金額は当第3四半期連結会計期間末において取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの追加）

第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.を連結子会社として連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメント「自動車部品事業（欧州）」を新たに追加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。